

平成27年産水稻の生育状況について（7月10日現在）

1 生育概況及び今後の管理

- 7月10日現在、県内生育調査ほの8割で幼穂が確認され、幼穂長の平均は3.6mm（平年差+1.7mm）となったことから、幼穂形成期^{※1}（県全体の平均）は7月6日頃と見込まれ、平年に比べ4～5日早まっている。今後の気温が平年並みで推移した場合、出穂期^{※2}（県全体の平均）は8月1日頃になる見込みである。
- 生育については、草丈が59.5cm（平年比96%）、1㎡当たりの茎数が547本（平年比99%）、葉数が10.8枚（平年並）であった。
- 本年における県平均の減数分裂期^{※2}は7月15～21日頃と見込まれ、今後、低温が予測される場合には（平均気温20℃以下または最低気温17℃以下）、幼穂を保護するための深水管理（20cm以上が望ましい）を実施するよう指導している。
- 斑点米カメムシ類の発生が多く、注意報が発表^{※3}されているので、斑点米による等級低下を防止するため、本田周辺の牧草地等の草刈りは7月20日までに、水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前まで（本年は7月20日頃）に終えるよう指導している。
- 箱施用剤や予防剤の効果が低下し始める時期であり、ほ場をよく観察し、葉いもちの発生が確認された場合は直ちに茎葉散布剤で防除するよう指導している。

※1：幼穂形成期（ようすいけいせいき）

「若い穂」が稲の茎の中でつくられ、1mm以上の長さになった時期で、出穂（しゅつすい：穂が出ること）の25日前頃から始まる。

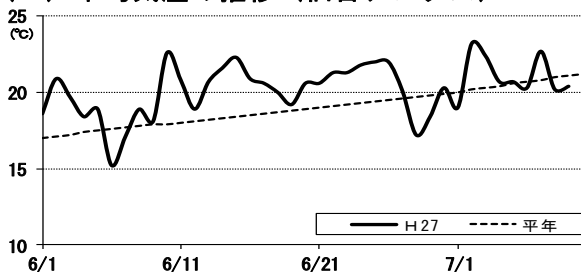
※2：減数分裂期（げんすうぶんれつき）

「若い穂」が3～12cmの長さになった時期で、出穂の11～17日前頃である。低温の障害を受けると最も減収しやすい時期である。

※3：県病害虫防除所の「平成27年度発生予察情報 注意報第2号（7月3日発行）」による。

2 具体的データ

(1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
6月上旬	18.8	1.2	30.0	90%	77.1	138%
中旬	20.6	2.1	4.0	9%	45.9	103%
下旬	20.5	1.2	96.5	147%	44.5	133%
6月	20.0	1.5	130.5	90%	167.5	125%
7月上旬	21.2	0.6	20.5	9%	44.2	128%

(3) 生育調査結果

a. 県全体

県全体	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)						
	59.5	95	96	547	95	99	10.8	▲0.3	±0.0	37.0	▲0.8	▲0.8	3.6	0.3	1.7

b. 地帯区分別

地帯区分別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)						
北部平坦	59.7	94	95	558	91	97	10.7	▲0.5	▲0.2	37.0	▲0.8	▲1.0	3.3	▲0.6	1.4
南部平坦	65.4	97	100	547	109	102	11.4	0.4	0.5	33.1	▲4.7	▲3.1	9.3	5.0	6.6
西部丘陵	60.7	97	97	534	97	104	10.9	▲0.2	0	37.7	▲0.2	0.4	5.0	1.6	3.2
三陸沿岸	56.7	98	100	632	99	105	10.9	0.7	0.4	36.6	▲1.6	0.1	2.5	1.2	-

c. 品種別

品種別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)						
ひとめぼれ	60.0	96	97	529	95	99	10.9	▲0.2	0.1	37.6	▲0.7	▲0.4	4.3	0.4	2.1
ササニシキ	57.1	92	95	591	93	101	10.6	▲0.7	▲0.3	35.6	▲1.3	▲1.7	1.9	0.1	0.7
まなむすめ	62.5	91	90	569	96	103	10.6	▲0.6	▲0.3	37.0	▲0.1	▲1.4	3.2	0.6	1.5

※平年比・前年差：前5ヶ年（平成22年～26年）の平均値との比較

※葉緑素計(GM)値：葉に含まれている葉緑素(クロロフィル)量の測定値で、栄養状態を把握するもの。

※次回は7月21日現在の調査結果を7月22日発表予定です。